

Ⅱ 集計結果

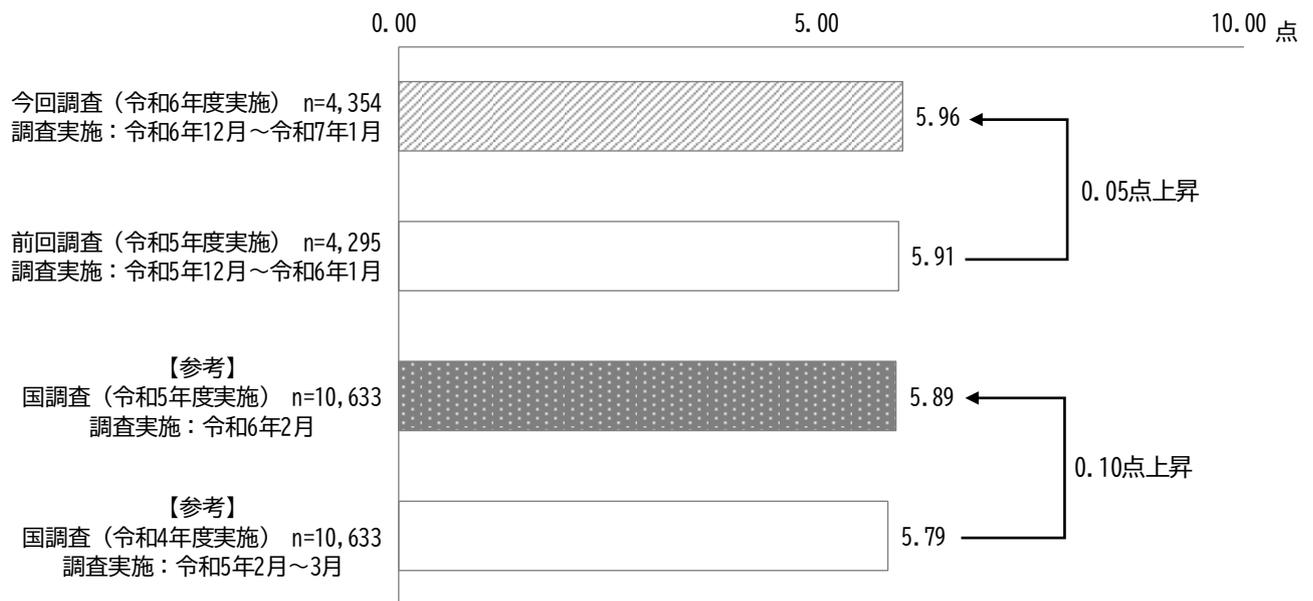
Ⅰ. 生活の満足度

問Ⅰ あなたは、全体として現在の生活にどの程度満足していますか。
「非常に満足している」を10点、「全く満足していない」を0点とすると、何点くらいになると思いますか。

➤ 生活の満足度

- 県民の皆さんが現在の生活にどの程度満足しているか（以下、生活の満足度）について、内閣府の「満足度・生活の質に関する調査」（以下、国調査）の質問に準じ、10点満点で質問したところ、平均値は5.96点で、前回調査より0.05点高くなっています。

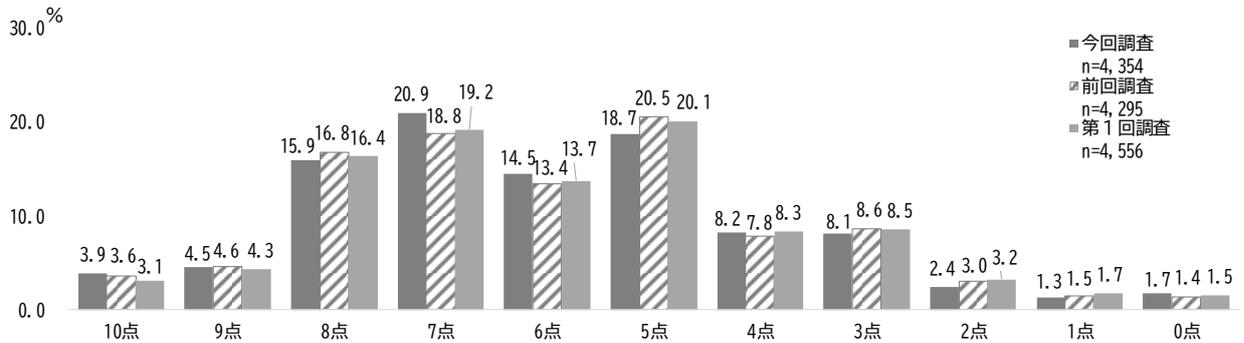
図表 2-1-1 生活の満足度の平均値（国調査及び前回調査との比較）



※国調査は、約10,000人へのインターネット調査（うち約5,500人は前回調査からの継続サンプルであるパネル調査）であることなど本県の調査方法と異なる点がある。

- 点数の分布をみると、「7点」の割合が20.9%と最も高く、次いで「5点」が18.7%、「8点」が15.9%となっており、M字型となっています。前回調査と比較して、「7点」と「5点」の順位が入れ替わりました。

図表 2-1-2 生活の満足度の分布（過去調査との比較）

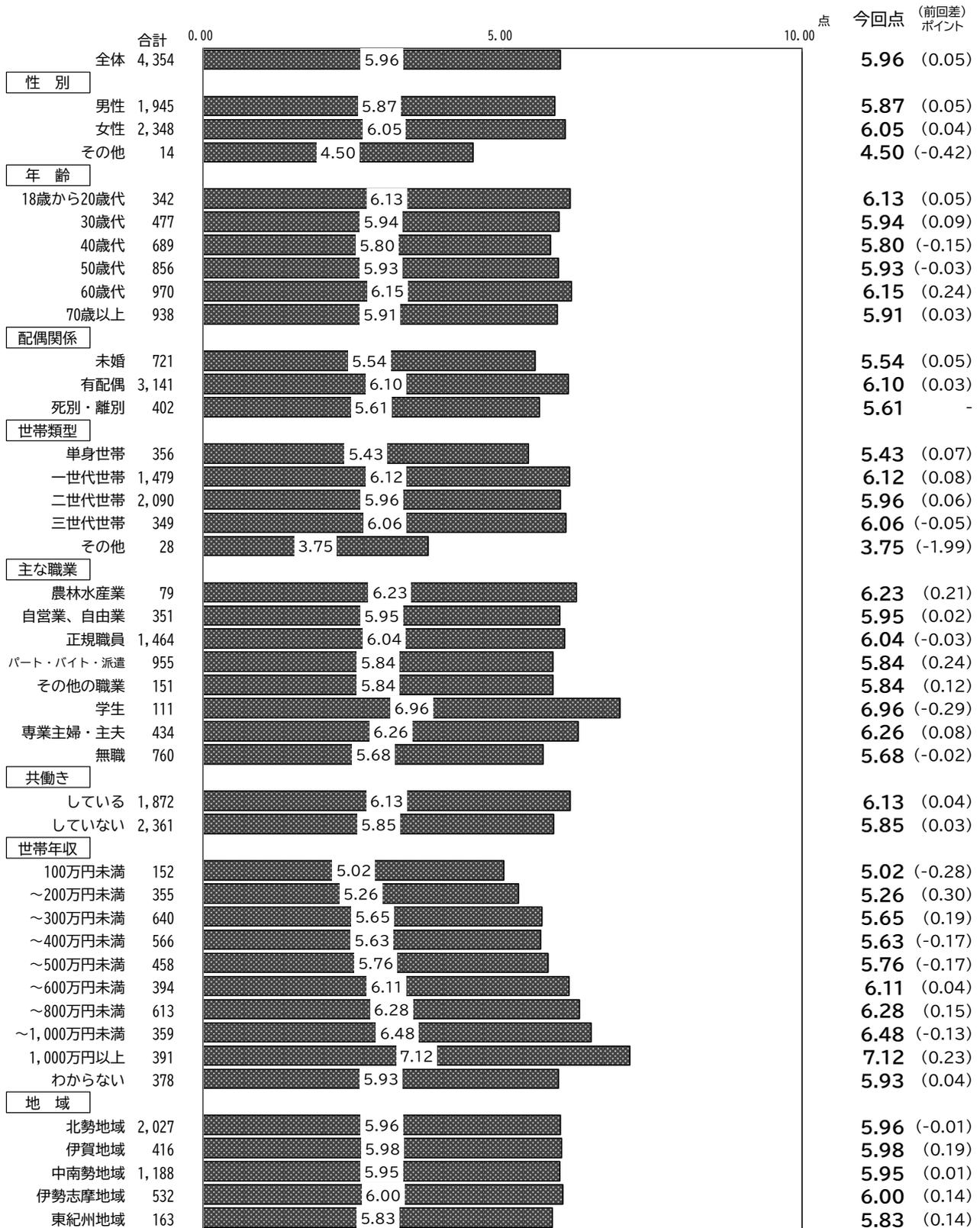


➤ 生活の満足度（属性別特徴）

- 性別で見ると、女性が6.05点で男性の5.87点より0.18点高くなっています。前回調査と比較すると、男性は0.05点、女性は0.04点高くなっています。
- 年齢別で見ると、60歳代が6.15点で最も高く、次いで18歳から20歳代（6.13点）、30歳代（5.94点）の順となっています。前回調査と比較すると、60歳代では0.24点高く、40歳代では0.15点低くなっています。
- 配偶関係別で見ると、有配偶が6.10点で最も高く、次いで死別・離別（5.61点）、未婚（5.54点）の順となっています。前回調査と比較すると、未婚では0.05点、有配偶で0.03点高くなっています。
- 世帯類型別で見ると、一世代世帯が6.12点で最も高く、次いで三世代世帯（6.06点）、二世帯世帯（5.96点）の順となっています。前回調査と比較すると、三世代世帯では0.05点低くなっている一方で、単身世帯、一世代世帯、二世帯世帯では高くなっています。
- 主な職業別で見ると、学生が6.96点で最も高く、次いで専業主婦・主夫（6.26点）、農林水産業（6.23点）の順となっています。前回調査と比較すると学生で0.29点、正規職員で0.03点、無職で0.02点低くなっていますが、それ以外の全ての職業で高くなっています。
- 共働きで見ると、「している」が6.13点で、「していない」の5.85点より0.28点高くなっています。前回調査と比較すると、共働きをしている世帯で0.04点、共働きをしていない世帯で0.03点高くなっています。

- 世帯収入別で見ると、世帯収入 1,000 万円以上が 7.12 点で最も高く、次いで 800 万円以上～1,000 万円未満（6.48 点）、600 万円以上～800 万円未満（6.28 点）の順となっています。前回調査と比較すると、100 万円未満で 0.28 点、300 万円以上～400 万円未満、400 万円以上～500 万円未満で 0.17 点、800 万円以上～1,000 万円未満で 0.13 点低くなっていますが、それ以外の全ての世帯年収で高くなっています。
- 地域別で見ると、伊勢志摩地域が 6.00 点で最も高く、次いで伊賀地域（5.98 点）、北勢地域（5.96 点）の順となっています。前回調査と比較すると、北勢地域で 0.01 点低くなっていますが、それ以外の全ての地域で高くなっています。

図表 2-1-3 生活の満足度の平均値（属性別）



※「配偶関係」の「死別・離別」は前回調査で聴取していないことから、今回調査結果のみとしている。